

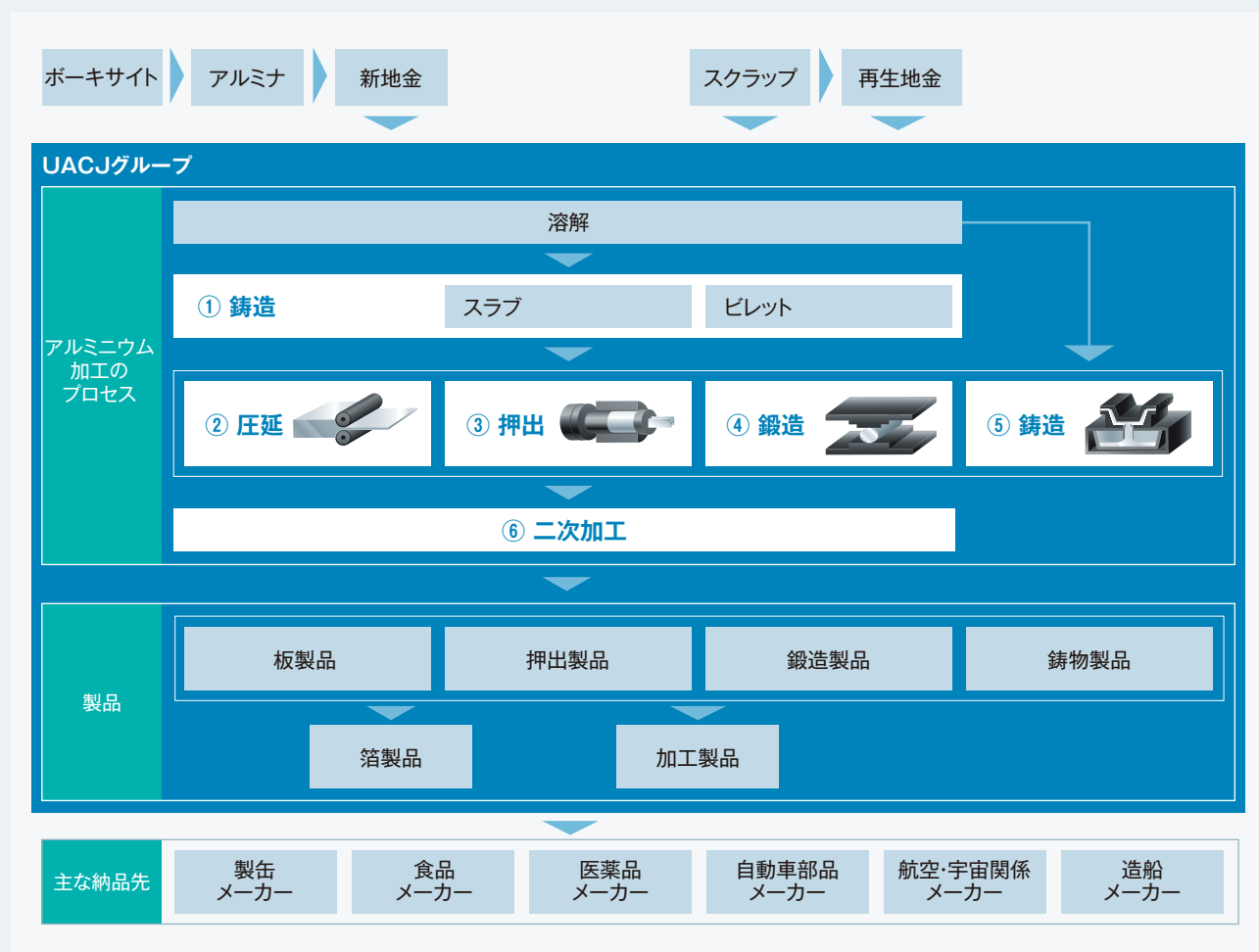
株主・投資家の皆様からよく寄せられる、  
当社やアルミニウム圧延業界に関するご質問に、お答えします。

**Q UACJはアルミニウム製品の製造プロセスの  
どの部分を担っていますか？**

**A** アルミニウムが製品になるまでには、まず原料となるボーキサイト鉱石を溶解してアルミナという白い粉末をつくり、そこから地金を製造します。UACJは、調達した地金をもとに、以下の工程を通じて幅広いアルミニウム製品を供給しています。

- ①  **casting**: 地金を溶かして、アルミニウムの塊(スラブ・ビレット)をつくります。
- ②  **rolling**: アルミニウム塊を薄く均一に延ばして板状にします。
- ③  **extrusion**: アルミニウム塊を金型に押し当てて棒や管状に成形します。
- ④  **forging**: 溶かしたアルミニウムを鍛えて強くしながら、指定された形状に加工します。
- ⑤  **casting**: 溶かしたアルミニウムを鋳型に入れて、指定された形状に加工します。
- ⑥  **secondary processing**: ②～⑤で成形した製品に、塗装や表面処理など、さらなる加工を施します。

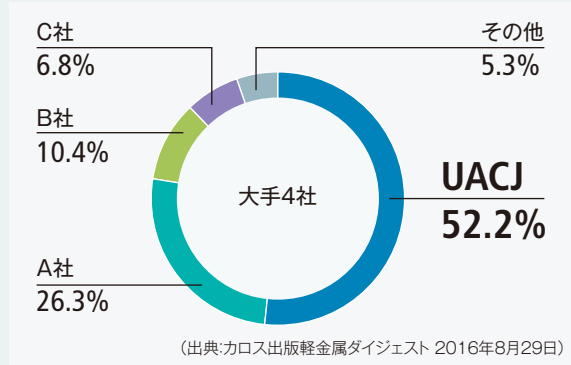
アルミニウムの加工プロセス



**Q 国内のアルミニウム業界におけるUACJのポジションは？**

**A** 2015年度の全世界への販売量は97万トンに達しており、国内アルミニウム業界ではNo.1のポジションを維持しています。

アルミニウム圧延品国内生産量比率



**Q 主なお客様は？**

**A** 製缶メーカー、食品メーカー、医薬品メーカー、自動車部品メーカー、航空・宇宙関係メーカー、造船メーカーなど、幅広い産業分野にわたっています。

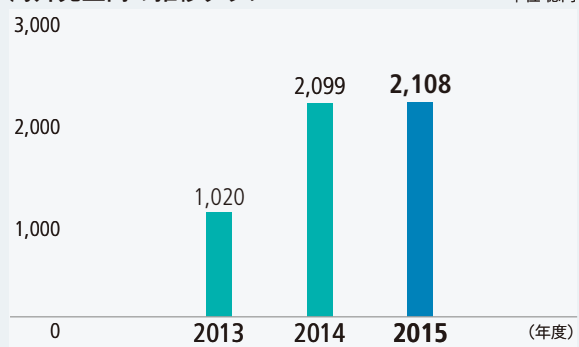
**Q 世界のアルミニウム業界におけるUACJのポジションは？**

**A** アルミニウムの圧延販売数量は、年間約100万トンで、Novelis社、Alcoa社など、世界のアルミニウムメジャー企業に続く規模を誇ります。

**Q 海外売上比率は？**

**A** 中期経営計画「Global Step I」において、グローバル営業体制の強化によって、海外売上高比率を2013年度実績32%から、2017年度に43%まで高めるとの目標を掲げています。そのための施策を着実に進めたことで、年々海外売上高比率が高まっており、2015年度には36.6%となっています。

海外売上高の推移グラフ



**Q 地金価格の変動は業績に影響がありますか？**

**A** 当社グループの主要原料であるアルミニウムや銅の地金価格は相場によって変動します。製品の販売価格は基本的に「地金価格+加工賃(ロールマージン)」となるため、地金価格と連動して変動しますが、当社グループでは、お客様とあらかじめ決めたルールに従い、相場が変動した場合でも価格に概ね転嫁させていただいています。このため、業績面では大きな影響を受けません。

**Q 利益面の説明にある「棚卸評価関係」について教えてください。**

**A** 当社グループの売値のベースとなる地金価格と、実際に購入した地金価格の違い、および当社の購入した価格と、在庫の払出し総平均価格との差から生じる評価損益です。地金が高い時に購入し、その後、地金価格が下落傾向にあれば、棚卸評価関係はマイナスとなります。逆に、地金が安い時に購入し、その後、地金価格が上昇基調になると、棚卸評価関係はプラスとなります。

**Q 原油価格の変動は業績に影響がありますか？**

**A** 原油価格が1ドル変動すると、経常損益の変動は約1億円となります。

**Q 為替の変動は業績に影響がありますか？**

**A** 大きな影響はありません。

**Q 天候の状況は業績に影響がありますか？**

**A** 猛暑の場合にはエアコンや飲料缶の出荷が増加し、これらに使われるアルミニウム製品の売上が向上する傾向がありましたが、以前と比べてその相関性は弱くなりつつあります。

**Q 有利子負債が多いようですが、財務の健全性はいかがですか？**

**A** 当社グループでは、中期経営計画の成長戦略に基づき、今後の成長を見据えた先行投資を積極的に行っています。このため、現在は借入が増加している状況ですが、今後は投資回収期に入っていくものと見ています。今後も財務の健全性と投資のバランスを重視しながらグループ経営を進めていきます。